



JPI催しのご案内

社団法人 日本包装技術協会 関東支部

2011

8

月

開催要領

会 場	社団法人 日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日 時	平成23年8月25日(木) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00
参加費	JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1講演あたり)

第1部 第187回輸送包装研究会

13:15~15:00

【テーマ】「シミュレーション技術を利用した包装業界の業務革新の未来像」

製造業を中心に、3D-CADの活用は飛躍的に広がっている。またその活用範囲は製品企画・設計のみならず製品ライフサイクルに沿い、販売・物流・サービスに至るまで広がっている。そのような中、今回は3D-CADデータとMR（ミクスリアリティ）技術による業務革新について具体的事例を交えて紹介する。

今後は、包装・マテハン分野においても、3D-CADデータをMR技術によって大規模装置・物流ラインを設置する現場（現実空間）に実寸大で配置・3D表示することで、従来把握することが難しかった設計段階での問題点を事前に修正するこ

とができるようになると思われる。これは試作・製作回数を減らせると共に、コスト及び環境負荷低減、開発期間短縮も可能になるものと考ええる。また、実機でのトレーニングが難しい業務についても、MR技術で疑似的にトレーニングすることが可能になる。

物流分野においても、倉庫条件に基づいて、MRを活用して、パレット設計、積載梱包条件（寸法、重量など）決め、安全性を確認することが可能となる。

以上、MRを利用した、業務革新の一助となる3D-CADの新しい活用方法について紹介する。

【講 師】キヤノンITソリューションズ(株) 事業企画本部 MRビジネス準備室 担当課長
【コーディネーター】(株)トーモク 開発営業部 部長代理 包装管理士
ユトー・ジャパン(株) 代表取締役 包装管理士

神 澤 直 彦 氏
矢 島 康 夫 氏
石 川 光 生 氏

第2部 第186回包装ラインシステム化研究会

15:15~17:00

【テーマ】「MicVac 調理殺菌システムについて」

大日本印刷では、様々な無菌充填システムを手がけてきた。今では、無菌充填は大容量の業務用製品からPETボトルやパウチ等の生活者向けのシステムも一般的となっている。しかし、いまだ飲料を中心とした液体製品がその中心である。完全無菌包装を現状の殺菌技術で行うことは、コスト面でまだハードルが高いといえる。一方、コンビニ弁当等、中食の世界では食品の廃棄ロスが大きな問題となっている。

その解決法として、SWEDENで誕生した惣菜のESL技術であるMicVac 調理殺菌システムの概要を紹介する。また、MicVacは長持ちだけではなく、その美味しさも特長となるため、あらたなビジネスモデルの可能性が開ける。

- ・MicVacシステムの概要と特長
- ・ヨーロッパにおける実績とビジネスモデルのご紹介
- ・MicVacレシピ作りのガイドライン
- ・製造ラインの構成と管理ポイント
- ・DNPのテストプラントのご紹介
- ・その他

【講 師】大日本印刷(株) 包装事業部 開発本部 開発1部 殺菌包装開発チーム チームリーダー
【コーディネーター】ベスパック(株) 食品包装事業部 技術部 顧問

串 岡 宏 一 氏
増 田 敏 郎 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

8月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部

